

三中だより

令和6年度 9月号②



令和6年9月27日発行
荒川区立第三中学校
(学校通信 No. 8)
校長 小柴 憲一

社会性を養う第一歩は「大人とのコミュニケーション」

9月4日(水)～6日(金)に2年生が勤労留学(職場体験)を実施しました。

受入事業所が全部で43箇所ある中、34箇所訪問して子どもたちの様子を見てきましたが、初日、2日目、3日目と、日を迫うごとに社会性が養われてきているなどという感想をもちました。

それは、職場の方やお客様などとのあいさつやコミュニケーションが自然になってきているからです。「今、僕は手が空いていますから何か



あったらやります。」
「これは、この上にのせておけばいいんですね。」
「私が接客に行ってきます。」
「いらっしやいませ。ありがとうございます



ました。」
「〇〇ちゃんには僕がずっと付いています。」などのような、大人と対等な仕事上のやり取りが交わされている様子を見て、とてもうれしくなりました。



中には、3日目になっても職場の人から指示されて動いている子どももいましたが、社会性が養われる度合いは人によって異なります。何よりも、今回の勤労



留学のような、一般の大人とかかわる機会をどれだけ多く体験できるかにかかっています。

ですから、ボランティア活動などは絶好の機会なのです。

大人とのコミュニケーションを臆することなくとれるようになっていくことが、社会性を養う第一歩ではないでしょうか。学校では、ボランティア活動や勤労留学などの機会を設けていますが、学校教育だけでは限界があります。是非、家庭教育の中でも意図的にそのような場にお子さんを入れてあげるような手立てをお考えいただければと思います。

この社会性は、学力調査などの数値化できるところ一部の学力と相関関係があるとは、私は考えてはいません。社会人になって、上司や先輩から育ててもらえる人材かどうかは、その人自身の社会性が大きく関与していると思います。

子どもたちには、今回の勤労留学を機会に一度むけた大人に近づいてもらえればと願っています。

なお、今回訪問している中で、事業所様からは苦情は1件もありませんでした。むしろ、以下のようなお言葉を受けましたのでご紹介いたします。



- 生徒さんたちの熱心さを見ていると、私たちが初心に戻らなければと感じました。
- 本当に真面目な生徒さんたちばかりで、とても助かっています。
- 中学生というと、斜に構えたところがあるのかなって思っていたのですが、全くそんなことはなく素直に何でも指示したことをすぐにやってくれるので、その素直さは自分たちも見習わなければと思いました。
- この子たちにうちの店を継いでもらいたいと思うほど、信頼できる子どもたちです。
- 一つ言うと三つはやってくれるので、将来有望です。
- お客様へのあいさつが元気ではきはきしているので、店の雰囲気も若返りました。
- 三中さんてみんなこんな良い子たちばかりなのですか。
- きっと緊張している中いろんなことをやっているんで、疲れ切っているんじゃないかなって思うんですけど、弱音一つ言いませんね。
- これからご高齢の方が多くなってきているので、今回体験してくれた生徒さんたちが、将来介護職に興味をもってくれればなど、ちょっと期待しているんです。

今回、勤労留学の受入にご協力くださいましたすべての事業所様、また受入事業所をご紹介くださいました保護者様に深く感謝申し上げます。

皆様の、子どもたちへの温かいご指導や、お褒めいただくような励ましの言葉のおかげで、三中の子どもたちは社会性を養う第一歩の「大人とのコミュニケーション」を踏み出せたと思います。

それぞれの事業所様のこれからのますますのご活躍やご繁栄をご期待申し上げます。



生徒会活動の力

三中だより7月号②でお知らせいたしましたが、7月8日(月)の生徒会朝礼で丸谷生徒会長から全体に対して

生徒会本部を中心にいじめ撲滅運動を行うこととなりました。

スローガンは「いじめの視聴者をなくそう ～画面の先の話じゃない！～」です。

設定理由は、いじめの傍観者や同調者をなくし、いじめが起こらない雰囲気をつくっていく必要があるためです。一人一人が、生徒会の一員としていじめ視聴者にならないよう行動して下さい。

という話がありました。

会長のその発言を受けて、9月の専門委員会で「自分たちの委員会でできることは何か」を話し合い、9月17日(火)の生徒会朝礼で以下のような報告がありました。

学級委員会:アンケートを実施します

生活委員会:いじめを目撃した人が発信できるような窓口をつくります。あいさつの時にプラカードを掲げます。いじめがなくなるような雰囲気をつくるために、相手を気にかけるようなあいさつをしましょう。

保健委員会:周りの人の健康状態に気を配ります。普段話さない人と一緒に手を洗って仲良くなりましょう。気軽に相談できる電話番号が書かれたカードなどを取りやすいように置き場を工夫します。

図書委員会:いじめのない集団づくりのために、学園をテーマにした本などを学級文庫に加えたり紹介したりします。

放送委員会:いじめ撲滅運動の一環として、普段の放送で呼びかけを行います。

美化委員会:いじめ撲滅運動の一環として、いじめ撲滅 week を実施します。美化委員会が中心となって清掃を強化します。

生徒会本部:いじめ傍観者をなくし、いじめのできない雰囲気をつくります。そのために、ポスターや輝汐タイムズなどを通して、生徒会本部にできる形で活動を広めていきます。今回、生徒会本部が「いじめ撲滅運動」に向けて設定したスローガン「いじめの視聴者をなくそう～画面の先の話じゃない！～」を受けて、各専門委員会でできることを検討してもらいました。普段の活動の中で、このスローガンを意識した取り組みを考えてくれたところと、新たな取り組みを考えてくれたところがありました。新たな取り組みをしていくには準備が必要です。生徒会本部では強化月間を設定して取り組みたいと考えています。前期委員会で検討してもらったものを後期委員会に引き継ぎ、より具体的に実践できるようにしていきましょう。いじめのない学校を目指して、このスローガンを常に意識して生活していきましょう。

これが生徒会の力なのです。

私は、いじめはどこでもいつでも起こりえると考えています。ただし、教員が何回も指導するより、子どもたちからわき出てくる力の方が、子どもたちには効果的に作用し、まさに「誰もが過ごしやすく居場所のある学校づくり」が構築されていくのです。

連合体育大会2年連続総合優勝！

9月20日(金)に江戸川陸上競技場で開催された連合体育大会で、本校は2年連続総合優勝を果たしました。まずは、参加した選手一人一人に拍手を送りたいと思います。

参加した選手たちは、連合体育大会の練習のために場所を譲ってくれていた部があったり、種目ごとに多くの教員が安全確保や励ましのために、担当としてついてくれたりしたことを忘れてはいないと思います。代表選手は、友達や教員の力強い応援を受けて、連合体育大会当日の競技に望んでいたことと思います。それが結果的に優秀な結果となり、三中の得点を積み重ねていったことになり、学校全体をあげての応援に感謝してほしいと強く願っています。

3年生の面接練習で「中学校一番の思い出は何ですか」という質問に対して「連合体育大会で

す」と回答した子どもは、過去4年間で一人もいません。つまりこの結果は、確かに一過性のものとして、この場限りの達成感や成就感で終わるかもしれませんが、学校代表になったことについては自負してほしいと思います。

もう一つ忘れてはならないことは、生徒在籍数の少ない学校がどれだけ苦労したかということ、またそのような学校の代表選手の中には、競技結果により歴然たる力の差を見せつけられて屈辱的な思いをした人もいるということも忘れてはなりません。

生徒在籍数の少ない学校は、選手の枠を埋めるのも大変であり、教員から強くお願いされて仕方なく代表選手になった人もたくさんいるのです。ですから、当日の10校の選手が集まった競技では大きく遅れてしまうこともあり、さらにそのような競技の姿を大勢に見られてしまうのはつらい思いがあったでしょう。当然、最初から分かっていることとはいえ、10校の中でも芳しくない総合成績で終わってしまうのです。

それでも、学校代表として一生懸命競技していたそれらの選手の、夏休みからの練習にかけた努力と当日の粘り強さは立派なものだと思ってほしいと思います。

それは、優勝した学校の代表選手だからこそ考えることができ、思いを察することもできるのではないかと思います。

お知らせ

- 7月26日に実施された防災検定において、以下の成績を収めました。
 - 3級 1年 井波 紗和、橋爪 美来、松田 悠矢、青山 莉可(防災自由研究優秀賞受賞)
 - 2年 有馬 一空、飯塚 翠(家族防災特別賞・防災自由研究優秀賞受賞)、
駒野 茉樹、近藤 亨昭、島尾 恵真、
長谷川 桃(家族防災特別賞・防災自由研究優秀賞受賞)
 - 3年 近藤 雅大(家族防災特別賞受賞)
- 準2級 2年 上田 琴華、小澤 篤希、丹野 綾音、飯野 愛麻
- 3年 上野 優真
- 第73回荒川区民大会水泳競技会において、以下の成績を収めました。
 - 女子 中学生の部 50m 平泳 優勝 山藤 実咲 (35秒49 大会新記録)
 - 第2位 山際 希乃羽 (36秒97)
 - 第3位 松本 美波 (37秒05)
 - 女子 中学生の部 50m 自由形 第3位 松本 美波(29秒83)
 - 女子 中学生の部 50m 背泳 優勝 大澤 寿紀(32秒73)
- 荒川区女子バレーボール新人シード権大会において、以下の成績を収めました。
 - 第3位
- 第73回荒川区民体育大会中学生バドミントン男子シングルの部において、以下の成績を収めました。
 - 優勝 杉谷 天稀 準優勝 佐藤 壮馬
- 荒川区女子ソフトテニスダブルスの部において、以下の成績を収めました。
 - 第3位 島尾 恵真・井上 乃々蘭 組
- 第5ブロック令和6年度東京都中学校野球秋季大会において、以下の成績を収めました。
 - 第3位
- 10月5日に開催される南千住第二幼稚園運動会のボランティアに以下の子どもたちが応募しました。
 - 1年 掛川 大輝、中川 乃綾、丸山 聖司、安部 隼人、加藤 ライラ、桑田 昊空、
佐藤 太一、神田 葵羽、近藤 希
 - 2年 今西 理沙、竹本 理桜
 - 3年 片倉 湊智
- 9月20日に開催され2年連続の総合優勝を果たした、中学校連合体育大会において、以下の大会新記録を樹立しました。
 - 1・2年女子走り幅跳び 1年 辰井 陽香 記録:4m72cm
 - 2年男子4×400mリレー(古越 大也⇒水谷 朝陽⇒大橋 亮佑⇒大内 祥太) 記録:47秒04
- 荒川区新人大会ソフトテニス女子団体の部において、以下の成績を収めました。
 - 第3位